

平成 30 年 6 月 18 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15K03104

研究課題名(和文) EUにおける権限の配分、委譲、行使をめぐる研究

研究課題名(英文) Division, Transfer and Use of competences in the EU

研究代表者

中西 優美子 (Yumiko, Nakanishi)

一橋大学・大学院法学研究科・教授

研究者番号：80327981

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：平成27年～29年度の研究成果としては、さまざまな権限の角度からEU法の問題を扱い、それを英語及び日本語で、また、雑誌論文、図書論文及び学会等で公表したことが挙げられる。具体的には、(1) EU諸機関と国内機関の権限配分、(2) EUと他の国際機関との権限配分(特にEU司法裁判所と欧州人権裁判所)、(3) EUの権限行使による基本権の遵守(特にEU司法裁判所によるもの)及び基本権の侵害(特にEUの立法機関によるもの)、(4) EUの下部機関への権限移譲及びEU機関間の水平的な権限配分を明らかにした。また、EUと第三国がFTAを締結したり、交渉したりする状況の中で、EUと日本のEPAも研究対象とした。

研究成果の概要(英文)：My research topic was competence of the European Union. I treated with different issues from the aspect of competence. First, the competence division between the EU organs and national institutions, especially the dialogue between the Court of Justice of the EU and the German Federal Constitutional Court. Second, the competence division between the EU and international organisation (the European Court of Human Rights). Third, guarantee of the EU fundamental rights and use of the EU's competence. Fourth, transfer of competence to the EU's bodies.

In addition, I research the FTAs which the EU concluded or negotiates because the EU and Japan negotiated the Economic Partnership Agreement (EPA). I published many articles for journal and books in English and in Japanese and made presentations at international conferences.

研究分野：EU法

キーワード：EU法 EUの権限 EUと構成国の権限配分 EU機関間の権限配分

1. 研究開始当初の背景

EU 条約及び EU 運営条約の中で権限の体系化を行う、リスボン条約が 2009 年 12 月に発効した。それを受け、新しい EU 法規が採択され、また、EU 基本権憲章に拘束力が与えられたことにより、EU 司法裁判所の判例にも進展が見られた。このような変化を踏まえ、新たに EU の権限について研究を深めたいと考えた。

2. 研究の目的

複雑さを増している欧州連合 (EU) の組織構造並びにその構成国及び他の国際機関との関係を、権限の観点から明らかにすること。具体的には、(1) EU 諸機関と国内機関の権限配分、(2) EU と他の国際機関との権限配分 (特に EU 司法裁判所と欧州人権裁判所)、(3) EU の権限行使による基本権の遵守 (特に EU 司法裁判所によるもの) 及び基本権の侵害 (特に EU の立法機関によるもの)、(4) EU の下部機関への権限移譲及び EU 機関間の水平的な権限配分を明らかにする。

3. 研究の方法

本研究の目的を達成するために、3 つの段階を踏む。国内外における文献収集及び分析、EU 権限研究の文脈における整理及び研究の体系化、学会発表及び論文執筆。とくに、第 1 段階では、ヨーロッパの大学、研究機関等を訪問し、資料を収集する。また、海外の研究者及び実務家と意見交換する。第 3 段階では、積極的に学会や国際セミナーで報告し、また、日本語・英語で論文を公表する。

4. 研究成果

平成 27 年～29 年度の研究成果としては、研究の目的において示したように、さまざまな権限の角度から EU 法の問題を扱い、それを英語及び日本語で、また、雑誌論文、本及び学会等で公表したことが挙げられる。

上述した (1) EU 諸機関と国内機関の権限配分では、特に EU 司法裁判所とドイツ連邦憲法裁判所の裁判官対話を取り扱った (図書)。また、EU 司法裁判所と国内裁判所を結びつける先決裁定手続制度の研究 (判例研究) を自治研究において隔月で公表してきた (雑誌論文)。 (2) EU と他の国際機関との権限配分では、EU 司法裁判所の欧州人権条約の加入問題を扱った (雑誌論文②)、(3) EU の権限行使による基本権の遵守及び基本権の侵害については、上述した自治研究に掲載した判例研究で個人データ保護に関連する EU 司法裁判所の判例を扱った (図書)。また、欧州逮捕状枠組決定について、論文を公表し、シンポジウムでも報告した (雑誌論文 及び学会発表) (4) EU の下部機関への権限移譲及び EU 機関間の水平的な権限配分については、委任された行為と実施行為に関して、一橋 EU 法研究会で報告し、また、自治研究

において判例研究を公表した。

研究テーマとして、現代の課題を取り扱ったものとして、EU と第三国との自由貿易協定 (FTA) がある。日本も 2013 年より EU と経済連携協定 (EPA) と交渉をし始め、2017 年 12 月に交渉を終了した。この関係で論文の執筆や報告を依頼された (雑誌論文 及び学会発表)。また、研究の目的である、権限の観点からこの問題を分析した (雑誌論文 及び図書)。

国際シンポジウムを開催し、その成果を本として公表した (図書)。

国際シンポジウムや学会等に積極的に参加し、国際的な共同研究に道を開くことができた。現在もその成果を本にすべく、海外の研究者と協力を続けている。また、公表した成果がインターネット等を通じて知られ、新たな論文の執筆を依頼された (図書 等)。

雑誌『自治研究』で先決裁定手続に関する判例研究を隔月で公表している。それを通じて憲法や行政法の研究者の方にも関心をもってもらえ、公法学会で報告の機会を得た (学会発表)。

国内外における位置づけとインパクト、並びに今後の展望について、述べておきたい。

EU 法の研究というと、外国法の研究と位置づけられることが多い。しかし、EU と日本は上述した EPA 及び戦略的パートナーシップ協定 (SPA) をまもなく署名する予定であり、発効すれば、EPA と SPA は日本法の一部ともなる。EPA と SPA には、EU と構成国の権限が複雑に関係しており、それを明らかにすることが単なる学術的な意味だけではなく、実際的にも有用なものとなっている。EU は、日本と EPA を締結しようとしているが、他の国、カナダ、ベトナム、シンガポール等とも FTA を締結したり、それを目指している。日本 EU の EPA を日本の立場から分析検討することが国外においても関心をもたれている。2018 年 6 月末には、台湾で開催される EU 学会において、日本と EU の EPA について権限の観点から報告する。さらに、7 月には、アジア国際法学会において、日本と EU の EPA における EU の価値の反映について報告する。さらに、2018 年 11 月には、フランスの Rennes 大学でのシンポジウムに招待されており、EPA について報告することが予定されている。

また、図書 等で検討した動物福祉 (Animal Welfare) は、EU における価値、動物が痛みを感じる生物であるという捉え方を説明している。動物福祉という考え方は日本ではほとんど浸透していないが、動物福祉に関する条文が EPA の中に挿入されており、今後日本での研究の深まり及び実践が必要となることが予想される。

さらに、イギリスが 2019 年 3 月末に EU から脱退することが予定されており、権限の観点から現在研究を進めている。引き続き、さまざまな事象において、権限の観点から研究

を進めていきたいと考えている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 26 件)

中西優美子「ドイツ基本法101条1項の裁判を受ける権利と先決裁定手続付託」【EU法における先決裁定手続に関する研究(27)】94巻6号 2018年 108-118頁。査読無

中西優美子「EUにおける個人の権利保護に関する先決裁定手続制度の意義」【EU法における先決裁定手続に関する研究(26)】94巻3号 2018年 88-98頁。査読無

Yumiko Nakanishi, “The EU’s Rule of Law and the Judicial Protection of Rights”, *Hitotsubashi Journal of Law and Politics*, vol. 46, 2018, pp. 1-12 査読無

中西優美子「EU電子通信データ分野における個人データ保護及びプライバシー権と国内法」【EU法における先決裁定手続に関する研究(25)】94巻1号 2018年 96-108頁。査読無

中西優美子「EUの委任行為と実施行為の相違」【EU法における先決裁定手続に関する研究(24)】自治研究 93巻10号 2017年10月 91-101頁。査読無

Yumiko Nakanishi, “Characteristics of EU Free Trade Agreements in a Legal Context: A Japanese Perspective”, *European Yearbook of International Economic Law*, Springer, 2017, pp. 457-474 査読無

中西優美子「EUとシンガポール間の自由貿易協定(FTA)に関するEUの権限」国際商事法務 Vol. 45, No. 9 2017年 1348-1354頁。査読無

中西優美子「先決裁定手続制度の実効性確保」【EU法における先決裁定手続に関する研究(23)】自治研究 93巻7号 2017年 99-108頁。査読無

中西優美子「EU法による環境保護団体の司法アクセス権の保障」【EU法における先決裁定手続に関する研究(22)】自治研究 93巻5号 2017年5月 103-113頁。査読無

中西優美子「OMT決定をめぐるドイツ連邦憲法裁判所とEU司法裁判所の対話の決着」【EU法における先決裁定手続に関する研究(21)】自治研究 93巻4号 2017年 99-110頁。査読無

Yumiko Nakanishi, “Completion of EU Measures Through Court Decisions: The Example of the European Arrest Warrant”, *Hitotsubashi Journal of Law and Politics*, Vol. 45, 2017, pp. 13-21 査読無

中西優美子「対外関係における欧州委員会とEU理事会の権限配分と機構間均衡原則」国際商事法務 45巻2号 2017年 282-287頁。査読無

中西優美子「ドイツ連邦憲法裁判所のEUとカナダの自由貿易協定(CETA)の締結に関する仮命令」【EU法における先決裁定手続に関する研究(20)】自治研究 93巻2号 2017年 84-95頁。

中西優美子「EU欧州逮捕状の執行に関するアイデンティティコントロールの実施」自治研究 93巻1号 2017年 112-121頁。査読無

中西優美子「EU欧州逮捕状枠組決定の実施と基本権の保障」【EU法における先決裁定手続に関する研究(19)】自治研究 92巻11号 2016年 113-124頁。査読無

中西優美子「仲裁におけるEU法の実効性確保」【EU法における先決裁定手続に関する研究(17)】自治研究 92巻8号 2016年 130-141頁。査読無

中西優美子「浚渫作業にかかわるEU自然生息地指令の実効性確保」【EU法における先決裁定手続に関する研究(16)】自治研究 92巻5号 2016年 94-104頁。査読無

中西優美子「EU運営条約二六七条の意味における『裁判所』」【EU法における先決裁定手続に関する研究(15)】自治研究, 92巻3号, 95-104頁, (2016), 査読無

中西優美子「国際協定により設立された機関におけるEUの立場の設定権限」国際商事法務 44巻2号 2016年 296-301頁。査読無

Yumiko Nakanishi, “Economic Partnership Agreement Between Japan and the European Union and Legal Issues”, *Hitotsubashi Journal of Law*

and Politics, Vol. 44, 2016, pp. 19-30
査読無

- 21 中西優美子「国際協定にかかわる文脈でのEU司法裁判所によるEU法秩序の自律性維持」EU法研究, 2016, pp. 1 - 38, 査読無

[学会発表](計 7 件)

Yumiko Nakanishi, “L’ accord de libre échange entre le Japon et l’ Union européenne”, Colloque international de Tours, University of Tours, France (2017)

中西優美子「EUにおける法治主義の位置づけ、制度及び意義」公法学会 (2017)

Yumiko Nakanishi, “Brexit and the EU Agreements”, European Union Studies Association Asia Pacific (EUSA) (2017)

Yumiko Nakanishi, “Completion of EU Measures Through Court Decision”, International Symposium “The Inter-Relationship between the European Convention on Human Rights and European Union Law” at University of Nicosia, Cyprus (2017)

Yumiko Nakanishi, “Various Systems Regarding Dispute Settlement of the European Union”, DILA International Conference (2016)

Yumiko Nakanishi, “FTA between the EU and Asian Countries”, International Symposium “The New Trend of the EU Trade Policy” at Tankang University, Taiwan (2016)

Yumiko Nakanishi, “Japanese Environmental Law in the Context of Globalisation”, International Symposium on Environmental and Technology Law at University of Trier, Germany (2015).

[図書](計 15 件)

Yumiko Nakanishi, “19 Environmental Law”, in R. Brinkmann and S.J. Garren (ed.), *The Palgrave Handbook of Sustainability*, Palgrave macmillan, 2018, 871 (359-370).

中西優美子「EUの個人データ収集と基本権保護の仕組み—GPS 捜査とプライバシー権を中心視座において」指宿信編『GPS 捜査とプライバシー保護』現代人文社 2018年 257 (170-182)

Yumiko Nakanishi, “Mechanisms to Protect Human Rights in the EU’s External Relations”, in Yumiko Nakanishi (ed.), *Contemporary Issues in Human Rights Law*, Springer, 2018, 219 (3-21).

中西優美子「ドイツ連邦憲法裁判所とEU司法裁判所間の対話の発展」『憲法学の創造的展開』下巻戸波江二先生古稀記念信山社 2017年12月 73 - 99頁。査読無

Yumiko Nakanishi, “Japanese Environmental Law in the Context of Globalisation-A Focus on Chemical Law-”, Timo Hebel, Ekkehard Hofmann, Alexander Proelß and Peter Reiff (Hrsg.), *Protecting the Environment for Future Generations-Principles and Actors in International Environmental Law*, Berlin, Erich Schmidt Verlag, 2017, 327 (283-304).

ディートリッヒ・ムルスヴィーク/訳中西優美子「訴訟代理人の見地からのドイツ連邦憲法裁判所のリスボン判決欧州における民主主義と主権についての考察」ディートリッヒ・ムルスヴィーク著 畑尻剛編訳『ディートリッヒ・ムルスヴィーク論文集 基本権・環境法・国際法』中央大学出版部, 2017, 522 (423 - 454).

Yumiko Nakanishi, “Animal Welfare in the European Union’s External Relations Law”, in Jeremiah Weaver (ed.), *Animal Welfare*, Nova Science Publishers, 2016, 168 (125-145).

Yumiko Nakanishi, “Chapter 1 Introduction: The Impact of the International and European Union Environmental Law on Japanese Basic Environmental Law”, Yumiko Nakanishi (ed.), *Contemporary Issues in Environmental Law-the EU and Japan-*, Springer, 2016, 216 (1-13).

Yumiko Nakanishi, “Chapter 6 The Principle of Animal Welfare in the EU and Its Influence in Japan and the World”, Yumiko Nakanishi (ed.), *Contemporary Issues in Environmental Law-the EU and Japan-*, Springer, 2016, 216 (87-113).

中西優美子, 「第 1 章 国際環境法、EU

環境法と国内環境法の相互関係」, 中西優美子編『EU 環境法の最前線 日本への示唆』, 法律文化社, 2016, 227 (1-13).

中西優美子, 「第 6 章 EU における動物保護措置の意義と国際的な影響」中西優美子編『EU 環境法の最前線 日本への示唆』, 法律文化社, 2016, 227 (86 - 122).

Alexander Proelß/訳中西優美子「第 2 章 EU 環境法の原則」中西優美子編『EU 環境法の最前線-日本への示唆』法律文化社, 2016, 227 (14-32).

Alexander Proelß/訳中西優美子「第 3 章 環境分野における EU の権限の範囲」中西優美子編『EU 環境法の最前線-日本への示唆』法律文化社, 2016, 227 (33 - 46).

Sara De Vido/訳中西優美子「第 7 章 EU における生物多様性の保護」中西優美子編『EU 環境法の最前線-日本への示唆』法律文化社, 2016, 227(123 - 150).

中西優美子, 「第 2 章 EU における個人データ保護権と『忘れられる権利』」, 奥田喜道編『ネット社会と忘れられる権利』, 現代人文社, 2015, 246 (20-40).

〔その他〕

ホームページ

学会発表 の報告ビデオ

https://www.canal-u.tv/video/irji/yumiko_nakanishi_professeure_de_droit_public_universite_hitotsubashi_tokyo_l_accord_de_libre_echange_entre_le_japon_et_l_union_europeenne.43359

一橋 EU 法研究会

<https://sites.google.com/site/eulaw1284/>

6 . 研究組織

研究代表者

中西 優美子(NAKANISHI, Yumiko)

一橋大学・大学院法学研究科・教授

研究者番号：80327931